



かわさきマイスターとは？

あなたは「かわさきマイスター」をご存じですか？ マスターではありませんよ、「マイスター」です。「マイスター」とはドイツ語で「名人」、「達人」、「親方」という意味。「かわさきマイスター」とは、川崎市が誇る、ものづくりのエキスパート、現代の匠、とも言うべき人のことです。

川崎市には、「手」や「道具」等を駆使し、とても優れた技術・技能を発揮して、現代の産業の発展や私たち市民の生活を支える「もの」をつくりだしている、現役の技術・技能職者がいらっしやいます。そういう人たちを、川崎市では、平成9年度から、市内最高峰の匠「かわさきマイスター」として認定し、素晴らしい技の普及・継承・後継者育成などの活動や経済振興の取り組みを行っています。

そこで今回、「かわさきマイスター」一人ひとりの紹介をおして、ものづくりの仕事について、ものづくりの技能について、また、ものづくりの魅力について、より分かりやすく、より楽しく伝えたいという目的で、このマンガの本を企画しました。

マンガ作成にあたっては、1人約2時間のインタビューをお願いし、作業風景も見せていただきながら、お話を聞きました。「マイスターの仕事は何か?」、「マイスターの技術のどこがすごいのか?」、「マイスターはその技能をどのようにして身につけたか?」という点を中心に質問をさせてもらいましたが、マイスターの皆さんは、実に率直に、そして熱心に、話してくださいました。おかげで、楽しくて、ためになるマンガ「かわさきマイスターの本」になったと思いますが、皆さんの感想はいかがでしょう?

「かわさきマイスター」とは? 取材をとおして感じたこと、それは、一つの技術を極めた方は、人間的にも素晴らしく、そして、その仕事が本当に好きなんだということです。

さあ、皆さんにとって、「かわさきマイスター」とは?